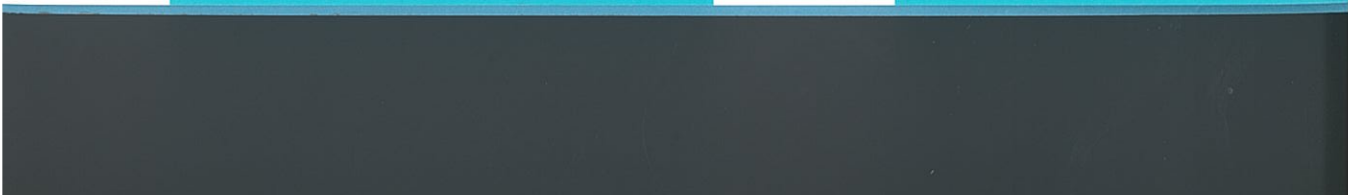
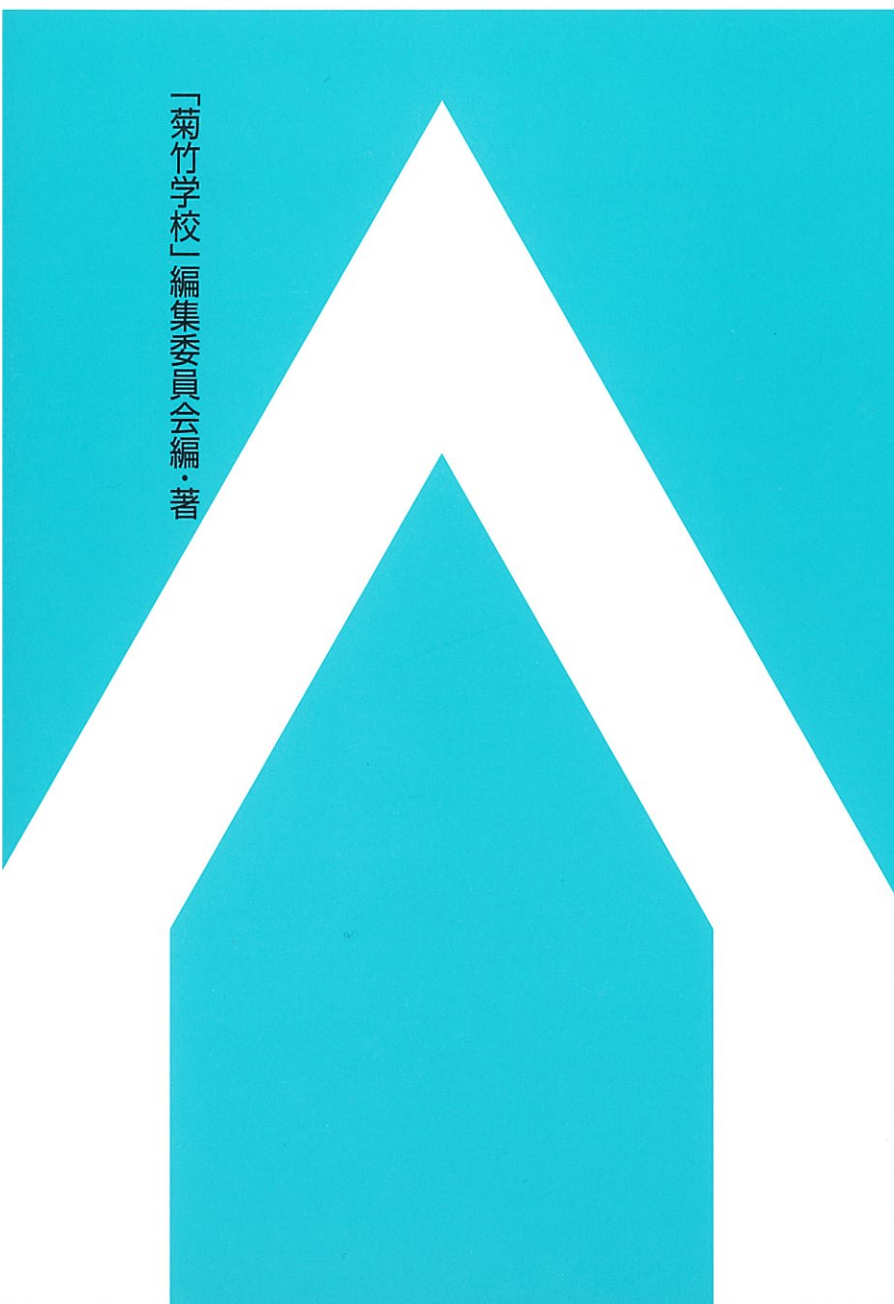


伝えたい建築をつくる心

# 菊竹学校

「菊竹学校」編集委員会編・著





菊竹清訓先生の事務所には一九七七年四月から八四年三月まで丸七年間お世話になりました。七七年の建築業界は不況で就職難でした。殆どの設計事務所は若干名との表記になっていて事実上募集無しの状態でした。当時東京大学の助手だった富永譲さんが私の卒論の指導教官でしたので、相談したところ、出身事務所の菊竹先生を紹介してもらおうことになりました。行く前に富永さんに基本的には募集をしていないみたいだから期待しないでねと言われながらも、何とか入りたいと思います、かなり大きな模型や図面を抱えて事務所へ面接に行くと(当時は四谷見附に事務所がありました)、菊竹先生ご本人が面接に出てこられて三〇分くらい話した後、その場で「来年から来てください」と唐突に言われた場面の印象が今でも頭に残っています。その後内定書もないので、当時秘書をされていた細谷京子さんに電話で確認をしたところ、大丈夫だからということで安心をしました。三月に東京大学の卒業計画賞をもらったことを報告したところ、非常に喜んでもらったことも記憶に残っています。

最初の担当は学習院の中等科の校舎でしたが、菊竹さんは入ったばかりの新人の私を最初から理事長の打ち合わせに先生と二人だけで同行させたり基本設計での纏めも私一人でさせたりして、(やり方が解らず毎月一二〇時間くらい残業していましたが)最初からOJTで鍛えて頂いた記憶が今でも鮮明です。夜一時間頃に一人で残業をしていると突然菊竹先生が現れて打ち合わせをしたこともあります。折角頂いたチャンスと思いついても憶えようとしていたので、何か疲れながらも楽しかった覚えがあります。その後も、工事現場での打ち合わせを新人なのに任せてもらいました。現場での施工担当の鹿島建設の現場の施工図課、担当主任の人からは新人ということもあって、沢山のことを教えてもらい、その後の財産になりました。また色々なメーカーや担当職の人からも、専門的な知識を教えてもらいました。初期に現場で色々な工法や工事手順について覚えたことが本当に良かったと思います。人生は偶然が半分、必然が半分だと思っていますが偶然の処遇や場面が自分の力量という必然

を鍛えることになると思いますし、必然を鍛えることが新しい偶然を生み出すものだと思います。偶然は一見不遇にも見えますが、それを必然の力量増加に変化させることが人生そのものであって、不遇に対して文句をいうことは空に向かつてつばを吐くようなことになるのです。

菊竹さんは過去にとらわれず何でも一から考えようとし、例えば過去のディテールなども積み重ねにならず、一つ一つのことをその場のあらゆる条件を使って詰めて行くので、解決に到達するのに多くの時間が費やされたました。同世代の楨文彦先生とは対照的で一時期は少し時間が無駄ではないかと思つた時期もありましたが、今から考えると、そのおかげで思考方法が鍛えられたのだと思いますし、意外性のある回答に行きついたと思います。菊竹事務所出身の建築家が、それぞれ全くスタイルが違うのは、こういった考え方に起因しているのではないかと密かに思っています。

その後NIRA(総合研究開発機構)からの要請で沿岸部の開発の可能性に関するレポートを書く必要はなくなり、私はしばらく設計から離れて、調査やヒアリングをはじめレポートを書く仕事をしましたが、今から考えるとその時の二年弱が、設計という行為を周囲の人がどのようにしているかという客観的な立場に立たせてくれたようにも思います。レポートの調査を通じて、当時の通産省の人やエンジニアリング振興協会、大学の先生などから幅広い知見を得る事ができました。私が事務所に入った時には、既に内井昭蔵さんや伊東豊雄さん、長谷川逸子さんなどは退職した後でしたが、少し後に内藤廣さんが入ってきて面白い人だなと思って見ていました。内井さんや伊東さん、長谷川さんなどとはその後Kパーティーという菊竹事務所のOBの集まりでお会いして長く色々なことを教えて頂きました。Kパーティーは毎年四月一日の菊竹先生の誕生日に集まって、お互いに近況報告や考えを交流する場で、OBはもちろんのことメタボリズムグループの人などがゲストを迎えることもあります。恐らく私の知る限り四〇年くらいは続いていることと思います。こうした誕生パーティーがあるということも菊竹先生の人柄、指導によるところではないかと思えます。後にこのパーティーをきっかけにして、滋賀県立大学を内井さんの監修のもと、長谷川さんと一緒に設計したのでもいい思い出です。菊竹さんに最後にお会いしたのは逝去される一年少し前で場所は国際文化会館だったかと思いますが、「大江さんのような元気な人はもつと頑張ってくださいね」と言われたのが最後に頂いた言葉となりました。

大江匡(おおえたけ)さん  
 プランテックアソシエイツ  
 一九七七年東京大学工学部建築学科  
 卒業/一九七七〜八四年菊竹清訓建築設計事務所/一九八五年株式会社  
 プランテック総合計画事務所設立/  
 一九八七年東京大学大学院工学建築  
 研究科修了/二〇〇五年株式会社  
 プランテックアソシエイツ代表取締役

1  
 On the Job Training



四谷の事務所にて 1978年頃



サンシャイン60の事務所にて  
 左より栗原義孝、大江匡 1981年頃